



2021

July
Vol.64



特集

災害から守る

防災・減災の意識を高めよう



JALしまね 隠岐地区本部版



森脇 淳宏さん

(74才)

今月は、島根おおち地区本部。川本町でピーマンの生産に取り組む川本町園芸組合・会長の森脇淳宏さんにお話を伺いました。



早期退職して本気で農業を

島根県の中央に位置する川本町は、周囲を山々に囲まれたのどかな風景が広がる地域です。森脇さんは、55歳の時に約30年勤めた川本町役場を早期退職し、実家の農業を継ぎました。「農業を始めるなら早い方がやりがいも感じられ長く継続できる。父が元気なうちに習いながらやろう」と農業に向き合いたいという気持ちが強かつたと当時を振り返ります。「自然の中でできる作業はとても気持ちが良い」と農業の魅力を語る森脇さん。しかし、近年そんな森脇さんをはじめ、この地域の人々を悩ませる問題が起きていたのです。

農家が頭を抱える原因是

川本町では近年、野生のニホンザルが多数出没し、せっかく育てた農作物が食い荒らされるという被害が多発。昨年度はサルの捕獲数が過去最多となり、事態はどんどん深刻化していきました。森脇さんも同様に、一生懸命作った作物を食べられてしまい、囲い柵やネットを張るなど、様々な対策を施してきました。それにかかる労力や費用はかなり大きく、これまで野菜の生産量が減少することはもちろん、被害に遭った農家の生産意欲が減退していくことも懸念される状況でした。

川本が町全体で取り組む「ピーマン大作戦」

そんな中、園芸組合の会長である森脇さんに、「Aの営農指導員から「川本でピーマンをもっと作つてみませんか」と提案を持ちかけられたのです。「ピーマン? 何故今更?」と半信半疑でしたが、よく聞くと、白ネギやナス・スイートコーンなどの野菜はサルの被害を受ける一方で、ピーマンだけ

は食べられなかつたという声が多数あつたこと。また、市場からもう少し

出荷数を増やして欲しいという要望があつたこと。更に、実が軽く、高齢者や女性でも作業がしやすいという理由からでした。

鳥獣対策と言え

ば生産者が補助金を申請して、自身でネット張りなど作業をするのが当たり前でした



いう活動は喜ばしい」と森脇さんは、この取り組みに賛同。昨年度より「ピーマン大作戦」と称し、園芸組合と共に女性部や青年連盟、町、ＪＡが一つになつて生産拡大に向け活動をスタートさせました。

町営バスで「ピーマン大作戦」



町営バスを活用した集荷の本格始動に向け
シミュレーションを行う生産者ら

「ピーマン大作戦」の一環としてメディアでも注目されているのが町営のバスを活用して集荷する貨客混載事業。免許を返納して

運転ができないなどの高齢農家が多い地域だからこそ、出荷にかかる労力を減らそうと、町内2ヶ所のバス停で生産者がピーマンの箱を積み、最終地点でＪＡ職員が降ろすという仕組み。県内初の試みで、7月からの本格始動に向けシミュレーションを行なったところ、雨の日や、一人が数箱出荷する際にはどうやってバス停まで運ぶかなど、いくつかの課題も見えてきました。立ち会った森脇さんは「本格始動したらもうと課題は出てくるはず」と今後に向けた対策を検討し、皆で更なる解決方法を模索しています。

江川太鼓で町を支える

ピーマンで町を盛り上げる森脇さんですが、元々音楽が好きだったこともあり、川本町の伝統芸能「江川太鼓」にも長年携わり町を支えています。江川太

らのメンバーと一緒に活動し、長年会長も務めておられました。今では、若い人にも受け継いでもらおうと地元

の小・中学生に教えるワークショップを続けるメンバーを見守っています。その他にも週1回尺八の練習にも参加するなど、趣味でも地域の人との関わりを楽しんでいます。

町に元気を取り戻すために！

森脇さんはこの取り組みを通して、川本町のピーマンの生産量を増やすのはもちろん、生産者同士の連携が生まれることに期待を寄せています。「仲間ができれば、一緒になって問題点を話し合ったり相談できたりと、メリットがたくさんある。生産者が増



江川太鼓で地域を盛りあげています

鼓は、昭和47年に起きた豪雨災害の際に壊滅的な被害を受けた町の復興を願つて結成された団体で、国内はもとより海外での公演も実施しています。森脇さんは結成当初か



週1回
練習する
趣味の尺八



芽引き作業をする
森脇さん



7月の収穫に向け
生育を確認します

えれば地域も盛り上がり、空気も変わる」と熱く語る森脇さん。そして、まだまだ元気に農業を続けたい方々をサポートし“歳をとつても働く”というモデルを作りたいとの思いも。この「ピーマン大作戦」も「江川太鼓」も、どちらも川本の町を元気にするために始めた活動です。「周りが動いてくれているので、じつとしているわけにはいきません」と地域のために意欲的に活動を続ける森脇さんでした。

ピチッと情報！

ピーマン

森脇さんがおススメするのは「ピーマンの肉詰め」「豚肉とピーマンの焼肉タレ炒め」。

また肉団子の彩りとしてピーマンを小さく刻んで加えるのもおススメ。

島根おおち地区本部のピーマンを購入するには「愛菜の郷」マークが目印。県内のスーパーで購入できます。ぜひ見つけてくださいね！



★お問い合わせ先★

J Aしまね島根おおち地区本部
営農部米穀農産課 0855-83-1623

災害から守る 防災・減災の意識を高めよう

皆さん、災害への備えはできていますか？

近年、全国で多発している自然災害。島根県でも昨年7月に発生した「令和2年7月豪雨」で、県内を流れる江の川が氾濫し、大きな被害を受けました。

災害の発生を止めるることはできませんが、被害を軽減させることは可能です。そのためには、今までの経験をしっかりと活かし、家族・地域を巻き込んで災害に“備える”ことが重要となります。

「備えあれば患いなし」。防災対策について今一度チェックしていきましょう。

写真=令和2年7月豪雨で被害を受けた江津市桜江町

日常の生活から意識を



災害について話し合おう～避難場所や避難経路を確認～

災害時には家族全員が協力し合うことが求められます。定期的に家族で防災について話し合う機会を作りましょう。

- 例えば ①自宅は安全か ②避難場所はどこか ③地域の危険場所はどこか ④どの道を通って避難するか
⑤子どもやお年寄りはどうやって避難するか ⑥非常持ち出し品を準備しているか…など
さらに!! 避難ルートを歩いてみましょう。災害時の状況によっては避難経路が通行止めになることもあります。
複数のルートを考えておくと安心です。



非常時持出品を準備しよう

避難するときに持ち出す最小限の必需品です。重すぎると避難に支障が出るので必要最小限のものをまとめましょう。

- ①ヘルメット・防災ずきん ②懐中電灯 ③携帯ラジオ
④予備電池 ⑤非常食（乾パンやアルファ化米など火を通さず食べられるもの）
⑥水 ⑦救急医薬品・常備薬 ⑧貴重品
⑨生活用品（衣類・軍手・ナイフ・ライター・缶切り・簡易トイレなど）
⑩マスク・アルコール消毒液・体温計 など



ハザードマップを確認しよう

ハザードマップとは、自然災害による被害とその範囲を予測した地図のことです。

各市町村のHPで公開しています。また、こちらのQRコードからも確認できます。



島根県わが家の防災チェックBOOK：家庭で防災について話し合おう、非常時持出品より

害発生

から
には？

具体的な
対策を
確認しよう



わが家の風水害対策

(1) まずは情報収集から！

台風や豪雨は、その接近や発生をある程度予想することができます。日ごろから気象情報を気にかけ、注意が必要なときにはテレビやインターネットで最新の情報を収集しましょう。

(2) 平常時の備え

★家屋のチェックポイント

窓ガラス

ひび割れ・破損・ぐらつきはないですか。

雨どい

つなぎ目のはずれ、塗料のはがれはありませんか。



屋根

瓦やトタンのひび割れやズレはないですか。アンテナはしっかりと固定されていますか。

屋外の設置物

プロパンガスのボンベはしっかりと固定されていますか。

(3) 被害が心配されるときには…対策を確認しよう

屋内では…

風圧や飛来物で窓ガラスが割れ、破片が吹き込む危険があります。内側からガムテープを×にはり、カーテンは閉めておきましょう。

屋内では…

床下・床上浸水の危険があります。家具や貴重品などを2階へ移動させましょう。

がけ崩れ

- がけからの水がにごる、音がする
- 地下水やわき水が止まる
- 斜面のひび割れ、変形がある
- 小石がぱらぱら落ちてくる

路上では…

看板が飛んだり、街路樹が倒れたりする危険があるので、近くの建物の中に避難しましょう。ただし、大雨をともなう場合には、地下には逃げ込まないように。

車の運転中は…

豪雨で視界が悪く、操作ができなくなる危険もあります。水が少ない場所を選びながら、ゆっくりと高台へ避難しましょう。浸水でエンストしたときには、無理に再始動させるとエンジンを傷めてしまいます。

土石流

- 近くで山崩れなどが発生
- 立木の裂ける音や岩の流れる音がする
- 雨が降り続いているのに、川の水位が下がる
- 川の水がにごったり、流木が交ざるなど

海辺では…

転落や高波、高潮に巻き込まれる危険性があります。すぐに高台に避難しましょう。強風や豪雨のときはサイレンなどの警報が聞こえないこともありますので十分に注意を。

河原では…

急な増水や土砂災害の危険があるので、川などには近づかず、すぐに避難しましょう。そこで雨が降っていないなくても、サイレンなどの警報が聞こえたらすぐに逃げてください。

地すべり

- 地鳴り、家鳴りがする
- 根の切れる音がする
- 地面が振動やひび割れをする
- 家やよう壁、道路に亀裂が入る
- 家やよう壁、樹木、電柱が傾くなど

風が強いとき

大雨のとき

土砂災害は前兆に注意を

島根県わが家の防災チェックBOOK：風水害対策①②より

防災

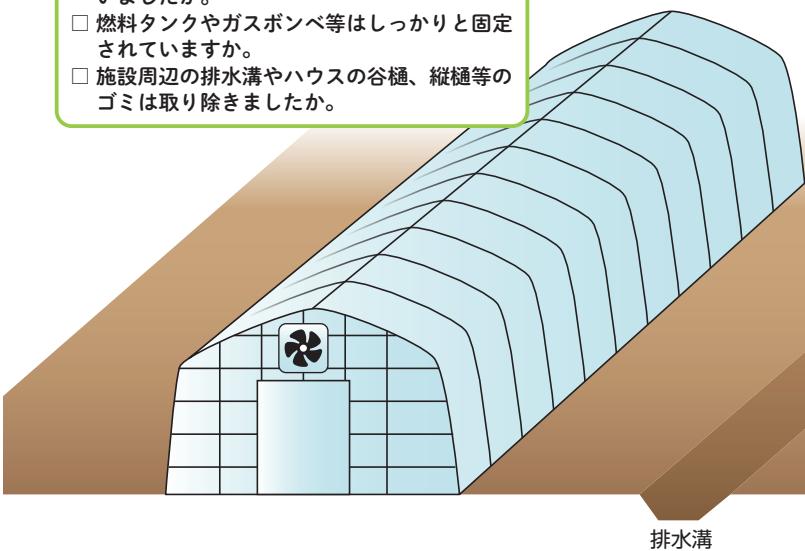
農業被害を起こさないために…

農業用ハウスを台風等の災害から守るため、保守管理や補強は重要です。常に気象情報を注視し、日頃からの点検・保守管理を実施しましょう。

【チェックリスト】

●周辺整備

- ハウス周辺の地面は、雨水の滞留やハウス内侵入を防ぐよう整備しましたか。
- ハウス周辺から飛来が予想されるものを片付けましたか。特にガラス温室周りは入念に行いましたか。
- 燃料タンクやガスボンベ等はしっかりと固定されていますか。
- 施設周辺の排水溝やハウスの谷樋、縦樋等のゴミは取り除きましたか。



【チェックリスト】

●停電対策

- 寒冷紗等の設置で高温を防止し、タンクにかん水用水を貯水しましたか。
- 自動換気（天窓、側窓）・遮光カーテンの手動開閉の操作器具や足場は準備できていますか。
- （発電機を持っている場合）非常用発電機を養液栽培装置、環境制御装置に接続しましたか。また、事前に動作確認を行いましたか。

J Aとしての対策

J Aしまねでは、組合員の皆さんに巡回等を通じて、気象情報の今後の動きや注意点、今すぐできる対策例や対策時の注意事項などの情報を提供し、被害の未然防止に努めています。

また万が一、災害が発生した場合には、被害状況調査を行い、皆さまの営農がスムーズに再開できるよう、様々な支援を行います。

「災害に強い施設園芸づくり月間」の制定について（農林水産省）(<https://www.maff.go.jp/>) を加工して作成

J A建物更生共済にご加入の皆様へ

島根県内でも自然災害（台風・豪雨・地震等）が多発しています。自然災害によって家屋や家財に被害があった場合は、J Aにご連絡をお願いいたします。

例えば

- ① 台風によって屋根・雨樋が壊れた。
 - ② 豪雨により住宅が床上浸水した。
 - ③ 地震により家屋が半壊した。
 - ④ ご契約された建物や家財について発生した火災や自然災害によって、おヶガをされた場合。
- ※共済金の支払いには、一定の要件があります。

直近の自然災害共済金支払状況(島根県)

(共済金支払額5,000万円以上)

年・月	災害名	支払共済金額
2020 9月	台風9号・10号	9,100万円
7月	7月豪雨	4億9,000万円
2018 12月	雪害	8,200万円
9月	台風24号	8,800万円
2018 7月	台風7号・7月豪雨	10億8,300万円
4月	島根県西部地震	29億4,200万円
2017 11月	雪害	11億円
10月	台風21・22号	5,800万円
2017 6月	台風3号	7,900万円
2017 1月	雪害	4億5,000万円
2016 10月	台風18号	1億2,700万円
2016 1月	雪害	1億4,700万円
2015 8月	台風15号	6,900万円

※JA共済連島根調べ

ご存じですか？

令和3年5月20日から市町村が発令する「避難情報」が変更となりました。
避難勧告は廃止し、「避難指示」に一本化。

“避難指示で必ず避難”

となります。
詳細は右のQRコードをご確認ください。



くらしの保障、相談するなら



耕そう、大地と地域のみらい。 JAグループ



農業被害を
おさえる
には？

自然災
害
守る



©よい食P



現場の声を もっと聞みたい 組合長が行く！



今月の 訪問先

J Aしまねやすぎ地区本部管内

- # 農事組合法人 ファーム宇賀荘 農事組合法人 のきの郷

J Aしまねの石川寿樹組合長ら本店常勤理事は、JA自己改革の一環として、地域の担い手・大型農業法人・集落営農組織等を訪問し、今後のJA運営に反映させるため各所で組合員の皆さまの貴重なご意見・ご要望を伺っています。



既存の施設についても触れ、「米と大豆の乾燥調製施設の一部が共用のため、適期で大豆の刈り取りができない。なんとか改善していただきたい」と要望されました。



ファーム宇賀荘の岡田組合長（右から2人目）らと
意見を交わす石川組合長（左）ら

今回は、「農事組合法人ファーム宇賀荘」「農事組合法人のきの郷」の2法人を石川寿樹組合長や山根盛治副組合長ら本店常勤理事が訪問し、現場の「生の声」を伺いました。



ファーム宇賀荘の
畠田組合長

「ファーム宇賀社」は、
水稻や大豆、ソバなどを
栽培。無農薬で「どじよ
うの住める環境で育つた
お米」として栽培する「ど

「じょう米」、減農薬・無化学肥料により環境に配慮し栽培する「工コ大豆」など、安心安全な栽培に取り組んでいます。岡田一夫組合長ら3人は、高齢化による担い手不足や、スマート農業の「JA側のサポート体制、県の事業を活用して建設する水稻乾燥調製施設と有機JAS認証の取得について

「化学肥料により環境に配
立」など、安心安全な栽培
の事業を活用して建設する
岡田一夫組合長ら3人は、
足や、スマート農業のJA
機JAS認証の取得につい

「のきの郷」は、水稻や大豆、麦やソバ、キャベツやトマト、なたねやイチゴなどを栽培。性別や年代に関係なく構成員が活躍できるよう、様々な品目を栽培し、菜種油の加工事業や観光農園にも挑戦されています。また、イベントや子ども達への体験学習を通じて地域の活性化や魅力を発信していく。山本耕一組合長ら2人は、現在までの取り組みや、今後予定している事業展開について、また構成員の青年部・女性部員の活躍や次世代の担い手について話されました。「たべものづくり＝ひとつづくり。就農してもらうには魅力的で、一人ひとりが活躍する場がないといつけてない」と力強く話されました。



のきの郷の山本組合長（左から2人目）から
イチゴ栽培について説明を受ける石川組合長（左）ら



今回はやすぎ地区本部管内の2法人を訪問させていただきました。

ファーム宇賀荘は、農水省が5月に打ち出した政策方針「みどりの食料システム戦略」よりも前から、無農薬栽培などの環境負荷軽減を行いながらの栽培に取り組んでおられます。先進例として、今後の取り組みにも大いに期待がもてる法人です。

また、のきの郷は、多岐にわたった経営をなさっており、今後も新たな取り組みを考え
ておられるなど、挑戦心や熱意が大変すばらしい法人です。後継者の育成にも積極的に取り組んでおられ、
今後、若手の活躍にも期待しております。

どじょうすくひの
郷の青田に
こふのとり

topics
1

花を贈り医療従事者へ感謝とエールを



“新型コロナウイルス感染対応の最前線で奮闘する医療従事者へ感謝と応援の意を示そう”と、JAしまねは「JAしまねThanks！フラワーエールプロジェクト」を開始しました。県内42カ所の医療機関へ5月後半から11月前半の毎月2回、県産花卉を使用したフラワーアレンジメントを贈り、同時に、コロナ禍で需要が落ち込む県産花卉の消費促進と産地維持を目指します。

6月2日には、同JAの石川寿樹組合長と同JA常務で島根の花振興協議会の石川薰会長が出雲市の県立中央病院を訪問。小阪真二病院長へ、県産の「ガーベラ」「カスミソウ」「カーネーション」「バラ」などを使用したフラワーアレンジメントを手渡しました。

石川組合長は「コロナ禍で病院関係者の皆さんには日夜頑張っていただいている。ささやかではあるが、花を贈呈し感謝の意とエールを送りたい」とあいさつ。小阪病院長は「花を見ると癒される。患者さんも来るたびにどんな花があるかと楽しみになる」と感謝を述べられました。

冠婚葬祭の縮小・中止や今回の緊急事態宣言の影響を受けている花卉（かき）業界。厳しいときには花の相場が半値程度まで落ち込み、2020年度の売り上げは、前年度比約2割減の約3億6,000万円でした。同協議会の石川会長は「コロナの影響を受けている花卉農家に対して何かできないかと思いがあった。こうした活動が農家の下支えになれば」と話しました。



花は地元の花屋が趣旨のイメージに合うようアレンジメント



小阪病院長（左）へ花を手渡す
石川組合長（中）と石川会長



JAしまねは7月31日～8月1日の2日間、出雲市のゆめタウン出雲で花のイベントを開催します。

場所 … ゆめタウン出雲 本館1階 X SELL前特設会場

7月31日[土] ★9：30～17：00 しまね夏の花品評会に出品された県産花きの展示会

★10：00～16：00 △親子対象／フラワーアレンジメント教室

8月1日[日] ★9：30～12：00 しまね夏の花品評会に出品された県産花きの展示会

★12：00～ 品評会出品花きの即売会

イベントについてのお問い合わせは…本店米穀園芸部園芸課 TEL：0853-25-8694まで

*新型コロナウイルス感染症の発生状況により内容が大きく変更する場合があります。

topics
2

J A運営に反映を 総代表者との意見交換会を開催



JAしまねは6月4日、ウェブ会議で総代表者らと意見交換会を開きました。各地区本部の総代表者ら22名が参加し、営農経済や信用共済の事業改革についてなど、JA役員と活発に意見を交わしました。

この意見交換会は、組合員の意見や要望を聞き、JAの事業運営に反映させることを目的に、年2回開催しています。

J A役員が2020年度事業報告や2021年度事業計画、営農経済・信用共済事業改革の進捗（しんちょく）などを説明。石川寿樹組合長は「安定した経営基盤を確立し、組合員の皆さんの期待にこたえていくためにも、先を見据えて事業改革を進めていく」と話しました。

総代の代表者からは、20年産米の在庫状況によって21年産の価格にも影響がでるのではないかと危惧する声が上がった他、コンプライアンス体制や内部統制システムの取り組み状況、産直事業の取り組みへの期待、支援事業の継続要望などの意見が上がりいました。



ウェブを活用し実施

topics
3

＼お知らせ／ 次回8月号は総代会特集！



QRコード

6月27日（日）に開催した第7回通常総代会の様子は、8月号の特集面にてご紹介いたします。

本来であれば7月号にて皆さまにお繋ぎすべきところですが、作成スケジュールの都合から8月号への掲載とさせていただきます。

なお、総代会情報は、先行して当JAのホームページへ掲載していますので、ぜひご覧ください。





輝く50万パワー☆ しまねの女性部！

やすぎ女性部

やすぎ女性部では、『JA女性 地域で輝け 50万パワー☆』の活動方針をもとに様々な活動に取り組んでいます。

令和2年度は新型コロナウイルス感染症の影響を受け、残念ながら思うような活動ができませんでした。

そういった中ではありましたが、昨年の12月には4回目の開催となったグラウンドゴルフ大会を実施し、体を動かして楽しみながら活動することができました。

また、3月にはフレッシュユミズ部会「かぐやひめ」主催の開運だるま作りを行い、女性部員も参加して交流を図りました。

今年度も新型コロナウイルス感染症の影響はあると思いますが、「できない」ではなく「できること」を考え、女性部とフレッシュユミズの活動が充実するよう取り組んでいきます。



地域のみなさんや、
女性部員が元気になる
楽しい活動を行っています

一所懸命青年連盟



JAしまね出雲青年連盟

こまつ まさし
小松 正嗣さん



地産地消に取り組み、
農業を通じて、
地域に貢献していきたい

JAしまね出雲青年連盟（以下、農青連）に加入している小松正嗣さん（39）は、出雲市平田地区で柿9haを栽培しています。島根大学へ進学し、20代後半で地元兵庫に戻り就職。その後再び島根に1ターンし、出雲市で就農されました。

30代目前まで、地元のコンピュータシステムソフトウェアの会社で働いていた小松さん。今まで全く接点のない農業を志すきっかけとなったのが、東日本大震災でした。被災地へのボランティア活動に参加し、日常にある当たり前のことの大切さ、生きることの大変さに触れ、「食べること、生きることに直結した仕事をしたい！」と就農を決意しました。現在は、「平田の西条柿を全国に発信する」という目標をかかげ、日々柿栽培に励んでいます。

農青連に加入して8年目。現在は平田支部の役員を務めイベントへの参加や、食農教育などを実施しています。

「農青連は、地域のこれからを担う農業者とJAが一同に集まれる組織。自分たちの経営方法や課題などを共有することで、新たに気づけることも多くあり、地域内でのつながりを密にすることもできる。活動を通して、地域農業をより活発にし、新規で就農する人達が今以上に増えよう働きかけたい」と話しました。

あなたもチャレンジ! 家庭菜園



シュンギク 収穫後に花も楽しもう

シュンギクの生育適温は15～20度と冷涼な気候を好み、春（3～6月）と秋（9～11月）が栽培適期です。カロテンの含量が多く、ビタミンC、カルシウム、鉄分なども豊富です。

品種

シュンギクの種類は、葉の大きさや切れ込み方により、大葉種、中葉種、小葉種に大別されます。大葉種は葉が大きく、切れ込みは浅く、えぐ味が少なく、「おたふく春菊」（中原採種場）、「菊之助」（タキイ種苗）などがあります。中葉種は切れ込みがあり香りが強い品種で、株立ち型では、「さとゆたか」（サカタのタネ）、「きわめ中葉春菊」（タキイ種苗）など、株張り型では、「菊次郎」（タキイ種苗）などがあります。

畑の準備

種まき2週間前に、1平方m当たり苦土石灰100gを散布し、深く耕しておきます。1週間前に化成肥料（NPK各成分10%）100gと完熟堆肥1～2kgを散布して土と混ぜ（図1）、ベッド幅1～1.2mとし、高さ5cm程度の平畝を作ります。

種まき

条間20cm、深さ5mm程度の浅いまき溝を4条切り、1cm間隔で種まきします（図2）。好光性種子のため、覆土はごく薄く掛けます。種まき後、十分に灌水（かんすい）し、発芽まで乾燥させないこと。また、幼苗を保護するために不織布をべた掛けすると良いでしょう。

間引き・追肥

発芽後、本葉2枚までに3～4cm間隔に間引き、株元に軽く土寄せします。この後、本葉5～6枚の頃に、10～15cm間隔に間引き、1平方m当たり化成肥料50gを株元にばらまき、土寄せします（図3）。

収穫

中葉種の株立ち型は、草丈が25～30cm程度になったら、葉4～5枚を残し、摘み取り収穫します。以後、伸びてきたわき芽の葉を2枚残して切り取ります（図4-1）。株張り型と大葉種では、草丈が20～25cm程度に育ってきたら、株ごと抜き取るか、株元から刈り取って収穫します（図4-2）。なお、春に咲く黄色い花は美しいので、株を残しておきましょう。

図2 種まき

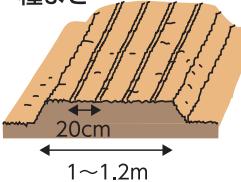


図3 間引き

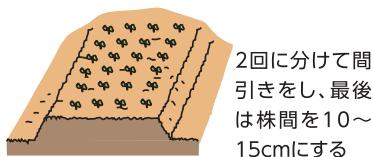


図4-1 摘み取り収穫

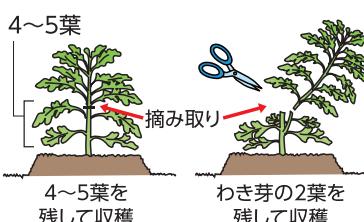


図4-2 抜き取り収穫



園芸研究家 成松 次郎

※関東南部以西の平たん地を基準に記事を作成しています。

理事会情報（5月28日開催）

【協議事項】

- ①職制規程（機構図）の変更について
- ②農産物検査業務規程の一部改正について
- ③令和2年産島根米買取価格の設定について
- ④令和2年度決算の承認について
- ⑤令和3年度業績還元額の取り扱いについて
- ⑥第7回通常総代会への附議議案について
- ⑦本店子会社等の役員への派遣及び推薦について
- ⑧JA全中による「取組指標を満たしていないJA」への再指定に伴う「JAしまね不祥事再発防止策（兼体制整備計画）」の再策定について

- ⑨組合と理事との取引（契約）の承認について
- ⑩系統団体および関連団体等への役員就任について
- ⑪新型コロナウイルスの対応を踏まえた第7回通常総代会の開催について
- ⑫通常総代会にかかる「総代会参考書類」および「議決権行使書」の取り扱いについて
- ⑬JAしまねの「不斷の自己改革」の実践に関する特別決議について
- ⑭今後の本店施設整備にかかる検討について
- ⑮役員報酬総額等の設定について

（紙幅の関係上、報告事項は省略いたします）

令和3年度水稻栽培について

農 情 報

令和3年産米出荷予約について、予約数量は前年比97.1%の14,675袋（1袋あたり30kg入）となりました。

7月上旬の生育状況はほぼ平年並みとなっています。葉色については、平年よりやや濃い傾向にあるので、追肥をおこなう際には窒素過多となるよう施用量にご注意ください。

また、病害虫については、7月上旬の曇天の影響による「いもち病」の発生が懸念されますので、発生が見られたら早期の防除に努めてください。害虫は6月末予察でウンカ類やカメムシ類が多い傾向にあるので、畦畔の除草や薬剤による適期防除に努め、斑点米による品質低下とならぬよう対策をおこなってください。



令和3年産米出荷予約状況

(単位：30kg入り袋)

品種名	R3予約数量	R2予約数量	R2集荷実績	予約前年比
コシヒカリ	7,749	7,410	7,440	104.5%
ハナエチゼン	280	140	127	200.0%
きぬむすめ	5,723	6,297	5,453	90.8%
つや姫	250	225	211	111.1%
神の舞	60	65	50	92.3%
山田錦	196	200	195	98.0%
五百萬石	417	742	458	56.1%
ヤシロモチ	22	22	23	100.0%
ミコトモチ	15	12	11	125.0%
合計	14,675	15,113	13,968	97.1%

(報告／経済部)

6月19日（土）、隠岐島農業振興協議会は、隠岐の島町役場において、隠岐島の園芸作物振興を目的として「野菜づくり講座」を開催しました。

受講対象者は、野菜づくりをしている方だけでなく野菜づくりに興味がある方など誰でも参加することができるとしており、JA広報誌、隠岐の島町広報で開催周知をしたところ約40名の申し込みがあり、想定より多くの方に参加していただきました。

講座では、島根県農林水産局隠岐地域振興第一課の普及員を講師に、野菜づくりに欠かせない土づくりについて講義があり、「野菜づくりに適した土壤について」「堆肥の施用について」など実践に役立つ勉強となりました。

隠岐地区本部管内においては、園芸作物は家庭菜園が主で、販売目的に出荷する生産規模の方は少ないですが、今回の様な講座等を通じて園芸作物に取り組む生産者が増えればと期待します。今後も継続して園芸作物に関する講座等の開催をす る予定ですので、是非ご参加いただければと思 います。

野菜づくり講座を開催



(報告／経済部)

活力ある地域の農業者を紹介 ～がんばる地域の力～

「新しいことにもチャレンジ！」するのは原田地区で主に野菜生産や野菜苗生産をする柴功一さん。柴さんは、島根県立農林大学校で野菜について勉強し、卒業後、野菜や花苗生産をする農業法人に就職していましたが、平成22年にUターンで隠岐の島町に帰り、大学や農業法人での経験を活かして4アールの生産規模で野菜苗生産を始めました。

現在は、露地野菜のほか、昨年よりリースハウス事業を利用し5棟のハウスを所有する中で、キュウリ・トマトなどの施設野菜生産を開始し、規模拡大をしています。

ハウス栽培をすることで、天候に左右されず安定した品質と生産量を確保することができます。柴さんは、「地産地消により、安心安全で食えるのに最適な時期に収穫した採れたての新鮮な野菜を、是非、地域の皆さんに食べてもらいたい。」とPRしました。また、「生産規模を拡大し新しいことにチャレンジする中で、しっかり家族を養いたい。」とも語りました。


リース事業を活用し建設したハウス

【柴功一さんの情報】
生年月日：昭和60年7月2日生まれ（36歳）
家族：妻、子供2人、両親の5人暮らし
JJAしまね隠岐青年連盟委員長
【主な生産規模】
ハウス施設野菜10a（キュウリ、トマト）、野菜苗生産8a、露地野菜20a（レタス、キャベツ、ブロッコリーなど）
労働力は本人、妻、両親の4人
【主な販売先】
地元スーパー、あんき市場など

（報告／企画総務課）

さらに新しいことにもチャレンジする予定で、島内ではほとんど生産販売されていない新品種を使つたイチゴ栽培を今年中には始める予定です。また、安心・安全なものを生産するため島根県版農業生産工程管理（GAP）「美味（おい）しまね認証」の取得に向け準備も進めています。

今後の課題について、「今は家族経営をしているものの生産規模を拡大することで労働力の確保が必要と考えています。労働力を確保する中で、更なる生産規模拡大を図りたい」と将来に向けた思いを語りました。



完熟に育ったトマトと一緒に柴功一さん

令和3年6月の全国主要子牛市場の平均価格は、雌687,711円（前月比97%）、去勢782,145円（前月比96%）、計741,803円（前月比96%）で、統落の取引となっています。

島根県の6月子牛市場は、中央市場で264頭の取引があり、平均価格は、雌666,152円（前回比38千円安）、去勢788,404円（前回比2千円高）で、統落の取引となり、上場牛では先月と比較し、雌・去勢とともに揃いが悪く、一部の購買者からは不満の声もありました。

7月6日（火）に開設された西郷家畜市場では、31の購買業者がセリに参加する中、122頭の子牛が上場され121頭が取引されました。平均価格は621,845円となり前回開設された3月西郷家畜市場の平均価格より44,326円安い取引となりました。



子牛市場の状況について

（単位：円、kg）

性別	入頭	場数	取頭	引数	1頭当価格			平均重	1kg当価	平日	均令	前回比	前回
					最高	最低	平均						
♀	56	55			850,300	352,000	554,900	214	2,591	225	△ 68,342	623,242	-
♂	0	0			-	-	-	-	-	-	-	-	-
去勢	66	66			833,800	456,500	677,633	240	2,825	222	△ 19,136	696,769	-
小計	122	121					621,845	228	2,725	228	△ 44,499	666,344	-
再セリ	0	0			-	-	-	-	-	-	-	-	-
合計	122	121					621,845	228	2,725	228	△ 44,326	666,171	-

※価格は税込みの価格となります。

（報告／経済部）

乾椎茸品評会について

5月18日に、隱岐の島町ふれあいセンターにおいて令和3年度「隱岐島乾椎茸品評会」を開催しました。

コロナ禍の影響により島根県及び全国乾椎茸品評会では出品物の展示や表彰式が中止になっており、当品評会においても一般への周知は取りやめ、規模を縮小し関係者のみでの開催となりました。

今年は作柄も

よく肉厚系のどんこ、こうこを

中心に箱物6点、普通物18点の出品があり、審査の結果、箱物の部では五箇

物の部では五箇

地区の芳野正彦さん

さん出品の「中葉厚肉」、普通

物は五箇地区の前田美登さん出

品の「どんこ」がそれぞれ最優秀賞に選ばれました。

島根島乾椎茸品評会への出品物については、当該品評会の後、島根県乾椎



島根島乾椎茸品評会受賞者の皆さん



品評会の審査状況

★各品評会の入賞者は次のとおり	
【島根島乾椎茸品評会】	
箱物の部	
最優秀賞	芳野 正彦 銘柄…中葉厚肉
優秀賞	芳野 正彦 銘柄…花どんこ
優良賞	野津 晴継 銘柄…中葉厚肉
優良賞	坂田 久和 銘柄…茶花どんこ
優秀賞	前田 美登 銘柄…茶花どんこ
優秀賞	前田 美登 銘柄…こうこ
優秀賞	吉田 亮一 銘柄…こうこ
優秀賞	(島根県椎茸生産者組合協議会長賞)
優良賞	芳野 正彦 銘柄…こうこ
優良賞	(島根県椎茸生産者組合協議会長賞)
3等賞	吉田 亮一 銘柄…こうこ

品評会および全国乾椎茸品評会へ出品され、島根県乾椎茸品評会では、西町地区の吉田亮一さんが優秀賞を受賞し、全国乾椎茸品評会においても、こうこの部で3等に選出されました。

JA NEWS

島町の医療機関へも花を贈呈

「JAしまねThanks! フラワーエールプロジェクト」（本誌7頁記載）として、島町地区本部管内でも、島町広域連合立島町病院へ島根県産の花きを使用したフラワーアレンジメントを贈呈することいたしました。

5月21日には島町病院において贈呈式を執り行い、贈呈式では佐々木本部長より「コロナ感染対策で奮闘されている医療関係者の皆さまへの感謝と応援、併せてイベント自粛等により消費が冷え込む県内花き生産の維持支援を目的にフラワーアレンジメントを贈呈します。」とあいさつし、長谷川院長からは「ありがとうございます。コロナ過ではありますが、これを励みにがんばります。」と感謝の意を述べられました。

贈呈は11月前半まで毎月2回実施することとしており、贈呈したフラワーアレンジメントは病院内の多くの方々に見ていただけれる場所に設置されていました。



（報告／経済課）

（報告／企画総務課）



(報告／企画総務課)



隠岐地区本部総代説明会を開催

6月15日（火）隠岐島文化会館において隠岐地区本部管内の総代を対象とした総代説明会を開催し、24名の総代にご出席いただきました。当説明会は、6月27日（日）に大田市民会館大ホールにて開催された第7回通常総代会に先立ち、地区別の説明会として開催しました。

説明会では、佐々木本部長および本店職員より通常総代会へ上程される令和2年度事業報告、令和3年度の事業計画、隠岐地区本部での取り組み事項などを説明させていただきました。

出席された総代からは、「JAの運営体制が今後どのようになるのか」「なぜ正組合員数が減少しているのか」などの質問ご意見がありました。

- (1) 令和3年営農座談会の実施報告について
- (2) 令和3年3月西郷家畜市場の市況について
- (3) 令和2年度2月末隠岐地区本部各事業実績状況報告
- (4) 令和2年度3月末決算見込みについて
- (5) 令和3年度事業計画について
- (6) 令和2年度業績還元資金について
- (7) 職員募集について
- (8) 隠岐地区本部職員の退職・採用・異動について
- (9) 理事会報告
- (10) 経過報告（1月～3月）

★6月15日開催 [報告事項]

隠岐地区本部運営委員会情報

令和3年3月26日（金）および令和3年6月15日（火）に開催の隠岐地区本部運営委員会にて協議された主な議題および報告事項は次の通りです。

★3月26日開催

[報告事項]

- (1) 令和3年営農座談会の実施報告について
- (2) 令和3年3月西郷家畜市場の市況について
- (3) 令和2年度2月末隠岐地区本部各事業実績状況報告

「読者の皆さんのご意見・ご感想をご紹介します」
・夏野菜、青虫に食べられながら楽しんでいます。家庭菜園コーナー勉強になります。（有木・Tさん）
・6月号しまねうれしひ記事の「あごのかば焼き」はぜひ試してみたい。どうしてもマンネリしますから。（栄町・Iさん）
・6月号のクロスワードパズルは難しかったけど答えが出せてよかったです。（久見・Yさん）
・玉子は私達の子供の頃は高価で貴重でした。旭養鷄舎の安全・安価・栄養満点の玉子が店にありました。安心して購入しています。（上西・Hさん）
・6月号に島根県農協青年組織協議会通常総会の記事がありました。隠岐青年連盟の村上淳一さんが副会長で再任されています。ご活躍をお祈り申し上げます。（有木・Mさん）
・「しまねうれしひ」「家庭菜園コーナー」記事が楽しみです。（西町・Mさん）
・夏野菜等の初心者なので家庭菜園コーナーを切り取りファイアルしていきます。主人が作った野菜を使い出来た料理は特に主人と2人楽しくいたたいております。（西町・Iさん）
・5月号記事を読んで、待ってました「デラウエア」出荷。自分で購入して食べますが贈り物にもピッタリです。（西町・Mさん）
・「しまねうれしひ」コーナーの献立表を楽しく拝見させていただいております。主人が作った野菜を使い出来た料理は特に主人と2人楽しくいたたいております。（西町・Mさん）
・5月号記事に掲載の「フラットドリックスさん」機械化された農業で、まだ3Kの作業です。アイドルグループの応援歌が農業者にうるおいを与えてくれると思います。（上西・Hさん）
・JAしまねのイメージソングを聴いてみたいですね。50歳若ければアイドルグループに入れたらかもしれません。・・・・・（原田・Yさん）

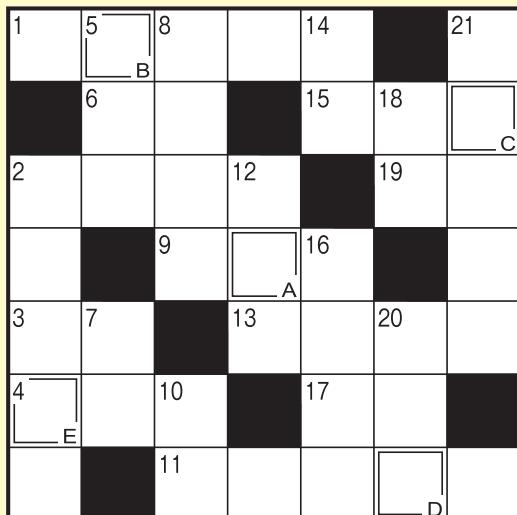
・5月号家庭菜園記事「ブロッコリー」の記事は私も大好きな野菜であり、これまで自分なりに作っていましたが、とても参考になりました。今年は樂しみです。（西町・Mさん）
「たくさんのお便りおまちしております」

お便りコーナー

CrossWord Puzzle クロスワード パズル

二重マスの文字をA～Eの順に並べて
できる言葉は何でしょうか？

出題●ニコリ



答え

A B C D E

タテのカギ

- ②鉱石を高温でドロドロにする装置。高炉とも呼ばれます
- ⑤川や池の土手のこと
- ⑦信号機で「止まれ」を示す色
- ⑧家屋を壊して新しく造り直すこと
- ⑩墨も料理を利用する魚介
- ⑫大きな魚はこの形でパック詰めされていることが多い
- ⑯令和3年の一日は8月8日。国民の祝日です
- ⑯ねぶた祭で知られる県
- ⑯「五七五七」などの形式で作られます
- ㉑飛行機で人や荷物を運ぶこと
- ㉑井戸端会議中に楽しむもの

ヨコのカギ

- ①最低気温が25度以上の夜のこと
- ②寺子屋では字の——やそろばんを教えました
- ③地球の中心部にあります
- ④長良川で有名な伝統漁法
- ⑥親戚の——を頼って仕事に就いた
- ⑨高速道路のサービス——で一休みした
- ⑪親潮は千島——とも呼ばれます
- ⑬帰る客を玄関まで——に行った
- ⑮力士が腰に締めます
- ⑯割、分、厘の次
- ⑯虫が入ってこないように布団の周りにつります

応募要項

●応募方法

ハガキに、答え、住所、氏名、年齢、電話番号、本誌に関するご意見・ご感想を記入して、下記宛先にお送りください。

●賞品

正解者の中から抽選で40名（JAしまね全体）の方に「農協全国商品券」をお贈りします。

●当選者発表

賞品の発送をもってかえさせていただきます。

●宛先・締切

〒685-0016 隠岐郡隠岐の島町城北町151

J Aしまね 隠岐地区本部 「クイズ」係

2021年8月6日（金）（当日消印有効）

◆先月号の答え◆

「サンダル」



選句者 「白魚火」 編集長 安食 彦先生 副主宰

最優秀賞

声までもかろやかになり更衣
浜田市 三沢 孝子 様

（評）貴族社会の約束事が民間に広まり、日を決めて制服等を季節毎にかかるようになった。夏服だ。本当に声までもかろやかになる。

優秀賞

立ちこめる霧に溶けこむしじみ舟
出雲市 石橋 厚 様

生きもののをらぬ水田の代を搔く
津和野町 田中とよし 様

心地良き夫の相撲初夏の朝
出雲市 竹田喜久子 様

佳作

上着の徹夜の構へ遠き日に
日盛りや傘のフリルの風に揺れ
更衣破れをかかる妻の内て
落坦ぐ肩に大地の香りあり
チユーリップクレバスの色使

「家の光」でも俳句・川柳・詩・短歌を毎月募集しています。こちらへもぜひご応募ください!
[家の光] 8月号 定価629円（税込）
購読は、お近くのJAへお問合せください。



俳句または川柳、住所、氏名、年齢、電話番号を記入のうえ、ハガキ、FAX、Eメールのいずれかでご応募ください。

※応募作品は自作で未発表のものに限ります。

※応募作品の一切の権利は、JAしまねに帰属するものとします。

※受賞作品は地域名、氏名（または雅号）を掲載します。

応募方法

あて先

〒690-0887 松江市殿町19-1

J Aしまね ふれあい福祉課

「俳句の広場係」または「川柳の広場係」

FAX : 0852-67-7708

Eメール : fureai.hon@ja-shimane.gr.jp



最優秀賞、優秀賞の4名様には「農協全国商品券1,000円分」をお贈りします。

・お預かりした個人情報は、プレゼントの抽選・発送のみに使用し、その他の目的で利用することはございません。

夏野菜肉じゃが



コメント

- ・ひき肉を使ったり、じゃが芋や南瓜をレンジで軟らかくしたりする事で、煮込み時間を短くしました。
- ・トマトの酸味が肉のうまみを引き立て、さっぱりとしたお味です!
- ・生で食べることの多い夏野菜ですが、火を通すことでより栄養の吸収を高めます。
- *アレンジ*
 - ・ズッキーニやゴーヤ、ピーマン、きゅうり等の夏野菜も使えます。
 - ・残った肉じゃがを卵とにじし、ご飯にかけて肉じゃが丢に!

材料 (4人分)

牛ひき肉	150 g
南瓜	250 g (1/4個)
じゃが芋	300 g (2個)
玉ねぎ	200 g (1個)
オクラ	8本
トマト (大)	1個
「酒」	100cc
A 砂糖	大さじ3
濃口醤油	大さじ1.5
B 「塩」	小さじ1/2
「水」	150cc
C 「片栗粉」	小さじ2
「水」	大さじ2

作り方

- ①南瓜は種とワタを取って、一口大に切る。
- ②じゃが芋は皮をむいて、一口大に切る。
- ③①と②を耐熱皿に入れ、ラップを軽くしてレンジ(600w)で4分間加熱する。
- ④オクラはヘタの先を切り落とし、ガクをむいて熱湯でさっとゆで、水に取つてから、斜め半分に切る。
- ⑤トマトはヘタを除いて一口大に切る。玉ねぎはくし形に切る。
- ⑥鍋に牛ひき肉を入れ、肉にAの調味料をかけ、ひと混ぜしたら火をつけ、炒るようにして火を通す。
- ⑦肉の色が変わったら、③のじゃが芋と南瓜、玉ねぎ、Bの調味料を加えて5~6分間蓋をして中火で煮る。
- ⑧トマトとオクラを加え、トマトに火が通ったら、Cの調味料を加え全体を混ぜて煮て、火を止めたら完成。

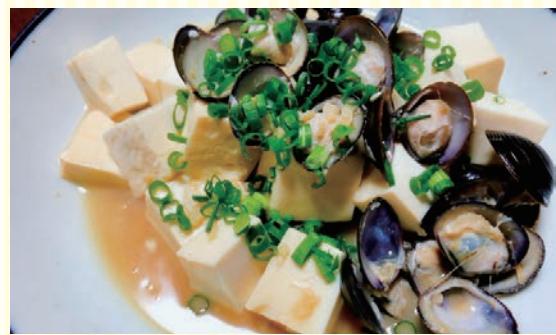
材料 (4人分)

冷凍しじみ	150 g
絹ごし豆腐	200 g
ニンニク	ひとかけ
油	小さじ2
「酒」	大さじ2
A 水	大さじ2
薄口醤油	大さじ1
葉ネギ	2本

作り方

- ①豆腐は軽く水気をきり、1.5cm角に切る。ニンニクはみじん切りに、葉ネギは小口切りにする。
- ②フライパンにみじん切りにしたニンニクと油を入れ、弱火にかける。
- ③香りが立ってきたら、凍ったままサッと水洗いしたしじみ（生のしじみでも良い）を入れて中火で軽く炒める。
- ④Aを加えひと煮立ちさせ、豆腐を加えて蓋をして、しじみの口が開くまで蒸す。
- ⑤器に盛り、葉ネギを散らして完成。

土用しじみと豆腐のスクミナ蒸し



コメント

- ・夏に旬を迎えるしじみは栄養価が高いため、夏バテ予防や疲労回復効果が期待できる食材です。
- ・「土用しじみ」を食べる習慣は、夏土用に鰻を食べる前からあったと言われています。
- ・冷凍保存したしじみは、うま味が凝縮してさらに美味しいいただけます。

アレンジ

- ・スクミナ蒸しをパスタに絡めてオリーブ油を回しかければイタリアンに!
- ・豆腐の代わりに茹でた冬瓜を使っても美味しいです!



健康散歩♪ 早口言葉に挑戦しませんか?

JA島根厚生連

世界中で広がる新型コロナウイルス感染症により、私たちの生活環境は大きく変わりました。マスクを着け外出することが日常となり、今までのように友達に会って食事をしたり、地域活動や趣味の集まりへの参加も減ったりしたのではないかでしょうか。

自粛生活が続くことによって、要介護状態の一歩手前である「フレイル」が悪化してしまう人が増えているようです。よく耳にするようになった「フレイル」という言葉ですが、「オーラルフレイル」という言葉はございませんか？

「オーラルフレイル」とは、口（オーラル）の虚弱（フレイル）という意味です。嚥んだり飲み込んだりする口腔機能が衰えることによって、むせたり食べこぼしたり、噛めないものが増えたりする状態のことをいいます。この状態が進行すると、低栄養や誤嚥性肺炎などを引き起こしてしまったり、口腔機能を維持させることは、健康維持と密接にかかわっているのです。

まだまだ終息の兆しのない新型コロナウイルス感染症。今後も自粛生活によって人と会話が減り、口を動かすことが減ると、口や舌の周りの筋肉は、どんどん衰えてしまっています。

そこでおすすめは、早口言葉です。みなさん一度は人と競い合った経験があるのではないでしょうか。早口言葉は、唇、頬、舌の巧みな動きを必要とするため、口と舌の体操になります。姿勢を正し、できるだけ大きくしっかり口を動かして声に出しましょう。速さだけでなく、はつきりと発音することも大切です。

オーラルフレイルを予防するために、早口言葉に挑戦して、意識して口を動かすようにしましょう。

【早口言葉の例】

- ・赤巻紙 青巻紙 黄巻紙
- ・隣の客は よく柿食う客だ
- ・坊主がびょうぶに 上手に坊主の絵を描いた
- ・東京特許許可局